

壁面緑化パネル 施工手引き

1. はじめに

※材料の確認

御注文いただきました資材及びその数量をご確認下さい。

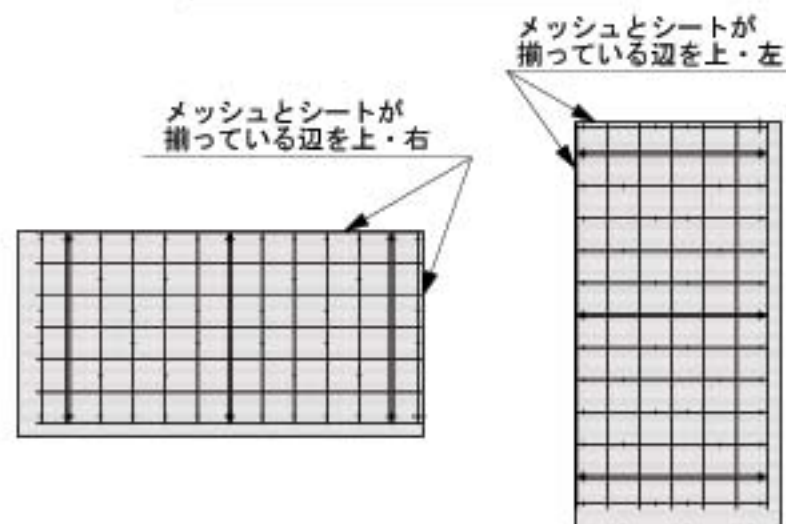
※道具の準備

本製品は、壁材によって取付方法及び部材が異なります。

詳しくは裏面をご参照下さい。

なお、コンクリート構造物を削孔する場合には、ハンマードリルのご使用をお薦めします。

2. 向きの確認

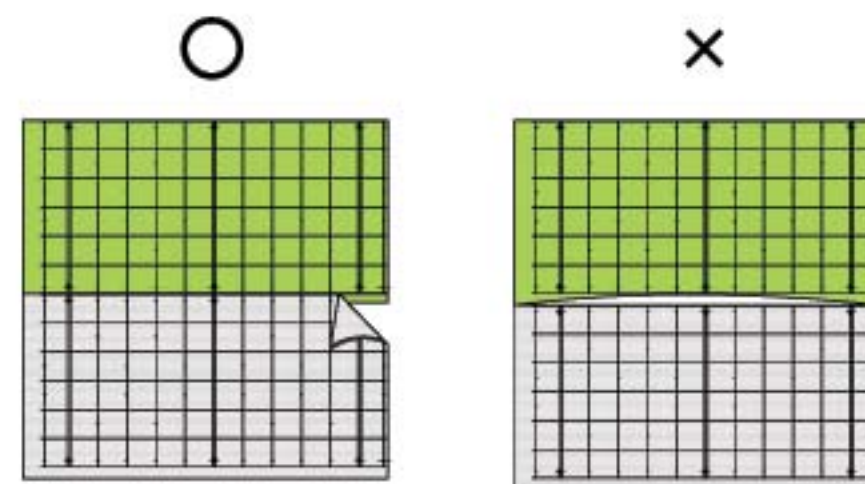


横づかいの場合

縦づかいの場合

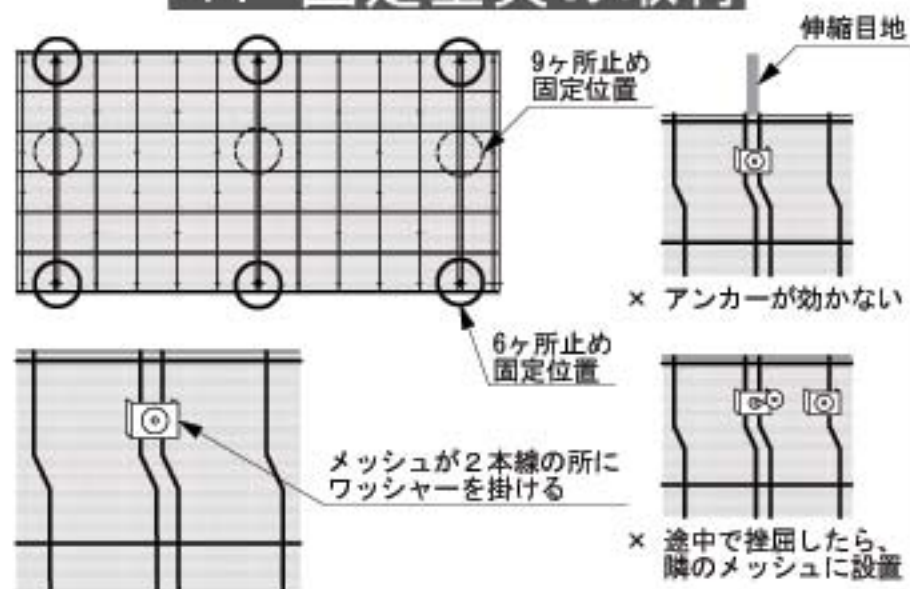
メッシュとシートが揃っている辺を確認します。

3. 張り合わせ方



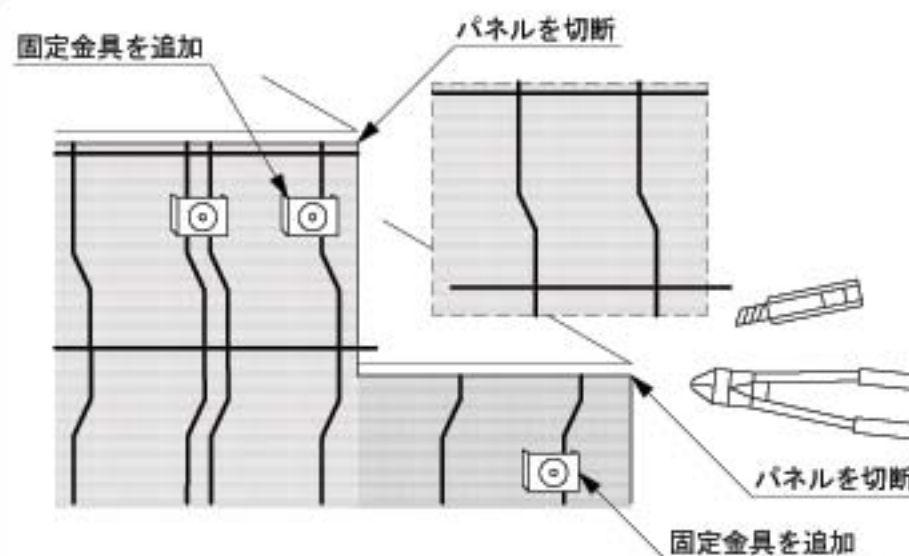
メッシュを突き合わせ、シートは重ねます。
上下左右のメッシュを揃えるときれいに仕上がります。

4. 固定金具の取付



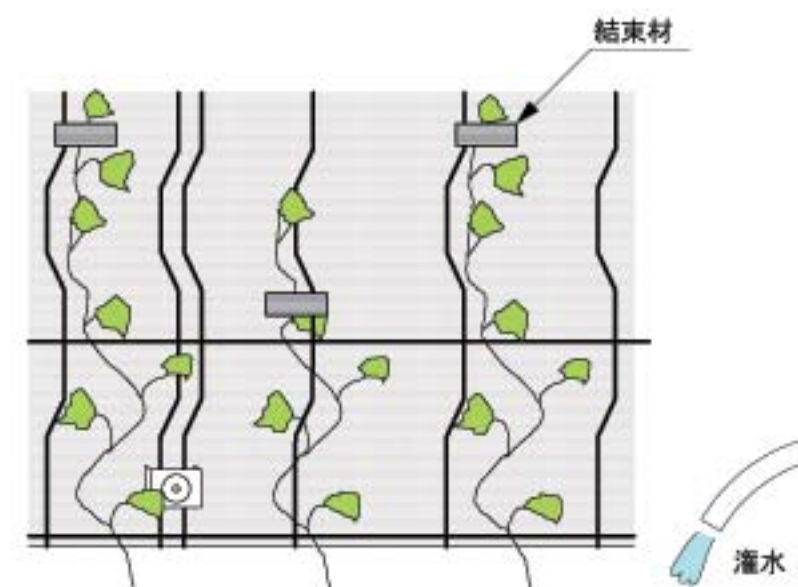
メッシュ2本線とシートが密着する箇所が固定金具の標準位置です。壁材により固定金具及びその取付方が異なります。(裏面参照)

5. 端部の処理



壁面の形状に合わせて現場で容易に切断できます。
必要に応じて固定金具を追加してください。
メッシュが1本線の箇所でも固定は可能です。

6. 植付・灌水・誘引結束



十分に灌水した後、メッシュとシートの上にツルを絡ませ、結束材で固定します。

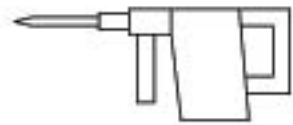
壁面緑化パネル 施工手引き（裏面）

壁材（金具）によるパネルの固定方法

コンクリート壁

1. 壁面緑化パネルを壁に当て、アンカー固定位置を決めます。（標準6ヶ所）
2. ハンマードリルで壁面緑化パネルの上から、アンカー用の穴を掘削します。
3. ワッシャーをはめた拡張アンカーを、金槌で叩いて打ち込みます。

<必要な道具>



ハンマードリル
ドリルビット（φ5mm）
*推奨ドリルビット：TE-CX5/15
（振動ドリルでは作業効率×）



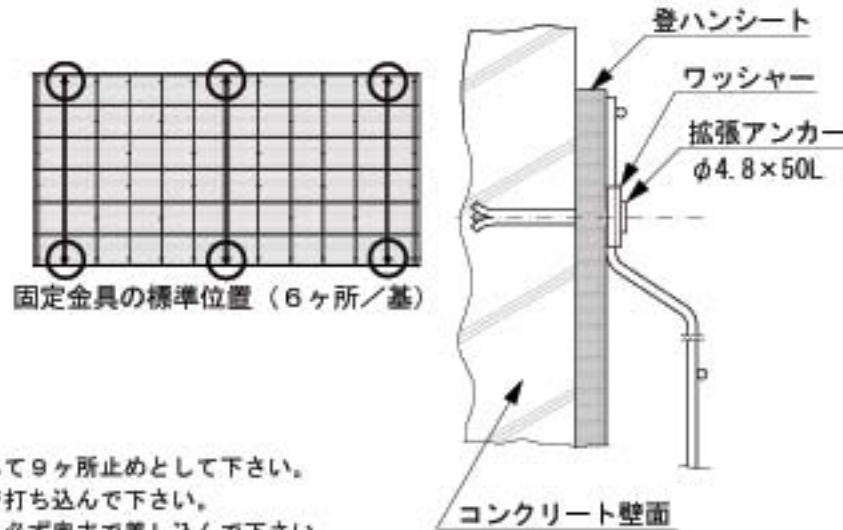
金づち



クリッパー
（番線カッター）



カッター



固定金具の標準位置（6ヶ所/基）

- 注：固定金具は、積雪が多い地域等、必要に応じて9ヶ所止めとして下さい。
 注：アンカーは十分奥まで差し込んでから金槌で打ち込んで下さい。
 注：途中で挫屈した場合十分な強度が出ません。必ず奥まで差し込んで下さい。
 注：迅速な作業のために振動ドリルよりも、ハンマードリルをお薦めします。
 注：切り粉が残らないように、ドリルを前後させるか、少し深めに掘削するとアンカーの打ち込みに失敗しません。

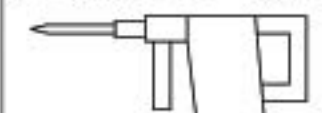
鋼材面

1. 壁面緑化パネルを壁に当て、ビス固定位置を決めます。（標準9ヶ所）
2. ワッシャーをはめたタッピングビスを、インパクトレンチでねじ込み固定します。

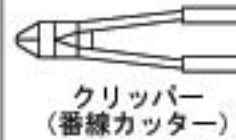
<必要な道具>



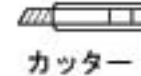
インパクトレンチ
レンチ用ソケット（10mm六角）



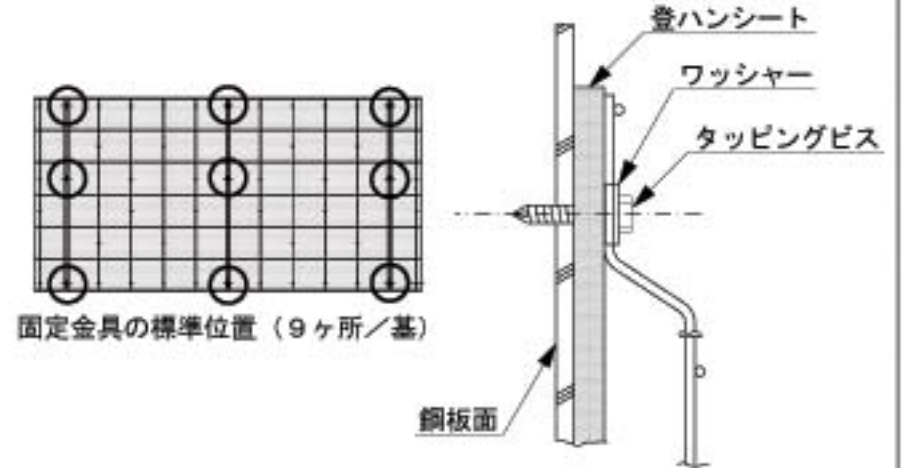
回転ドリル
ドリルビット（φ3~5mm）



クリッパー
（番線カッター）



カッター

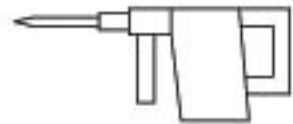


固定金具の標準位置（9ヶ所/基）

- 注：鋼板の厚さによっては、タッピングビスによる直接削孔ができない場合がございますので、事前に鋼板の厚さ等をご確認ください。（通常t=1.2mm程度までは直接削孔が可能です）
 注：ビスによる直接削孔ができない場合は、回転ドリルで少し小さめの穴（φ3~5mm程度）を削孔のうえ、ビスでねじ込み固定して下さい。

中空ブロック・ALC壁

<必要な道具>



ハンマードリル
ドリルビット（φ6mm）
*推奨ドリルビット：TE-CX6/17
（振動ドリルでは作業効率×）



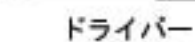
金づち



クリッパー
（番線カッター）

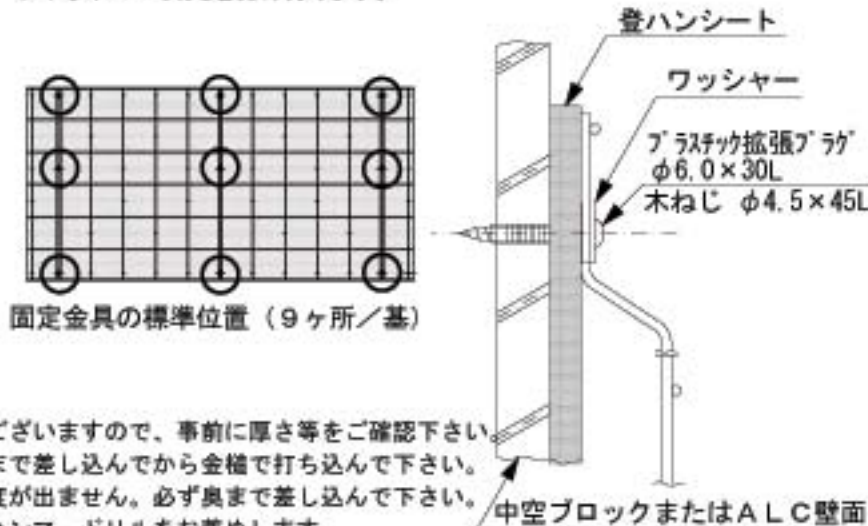


カッター



ドライバー

1. 壁面緑化パネルを壁に当て、アンカー固定位置を決めます。（標準9ヶ所）
2. ハンマードリルで壁面緑化パネルの上から、アンカー用の穴を削孔します。
3. プラスチック拡張プラグにワッシャーをはめた木ねじを軽くねじ込みます。
4. 木ねじに登ハンシートの厚さ位置のマークを付け、その位置まで金槌で叩いて打ち込みます。
5. ドライバーでねじを締め付けます。



固定金具の標準位置（9ヶ所/基）

- 注：中空ブロックやALCには様々な種類がございますので、事前に厚さ等をご確認ください。
 注：プラスチック拡張プラグの先端を十分奥まで差し込んでから金槌で打ち込んで下さい。
 注：途中で挫屈した（折れた）場合、十分な強度が出ません。必ず奥まで差し込んで下さい。
 注：迅速な作業のために振動ドリルよりも、ハンマードリルをお薦めします。
 注：切り粉が残らないように、ドリルを前後させるか、少し深めに掘削するとアンカーの打ち込みに失敗しません。

アルミ吸音板（遮音壁） 標準吸音パネルタイプ

<必要な道具>



インパクトまたはボックスレンチ
レンチ用ソケット（19mm六角）



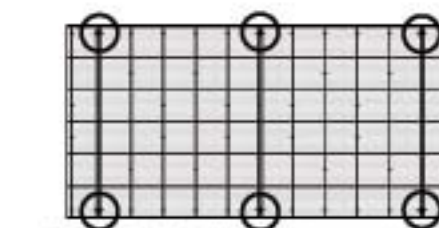
ペンチまたはプライヤー



クリッパー
（番線カッター）



カッター



固定金具の標準位置（6ヶ所/基）

1. フックをかける位置の登ハンシートをカッターで切っておきます。（標準6ヶ所）
2. あらかじめフック・ワッシャー・蝶ナットを組んでおきます。
3. 壁面緑化パネルをアルミ吸音板に当てます。
- 注：横の取付位置はH鋼の中心を基準にしています。その他の場合はフックの取付が難しい場合がありますのでご注意ください。
- 注：縦の取付位置が次のアルミ吸音板に掛からないように気を付けて下さい。
4. 組んだフックセットの末端（ネジ側）をベンチなどで挟みます。
5. フック部分が横を向くようにして吸音板へ押し込みます。
- 注：このとき必要以上に押し込んで中のシートを破らないように気を付けて下さい。
6. フック部分が垂直になるようにし、斜め下方向に引っ張って、フックをアルミ板に引っ掛けます。
7. ワッシャーが母材にはまっていることを確認してから、蝶ナットを締めます。
- 蝶ナットは、最後までしっかりと締め付けて下さい。
- 注：このときインパクトレンチ（六角のボックスレンチ19mm）を使うと、素早くネジが締められます。

